

最上川下流左岸農業水利事業

西野排水機場建設工事

最上川下流左岸地区は、山形県の庄内平野に位置する鶴岡市、酒田市及び東田川郡庄内町にまたがる水田地帯で、水稻を中心に水田の畑利用による大豆、そば、野菜等を組み合わせた農業経営が展開されています。

本地区では近年の降雨量増加や土地利用の変化に伴い、現行の排水施設の能力を上回る排水が流入し湛水被害が頻発しています。

最上川下流左岸農業水利事業は、地区の排水系統の再編とともに、排水機場、排水路の改修等を行い、排水機能の強化による湛水被害の軽減を図り、農業生産性の維持向上及び農業経営の安定に資することを目的としています。

本工事は、国営最上川下流左岸土地改良事業計画に基づき西野排水機場の改修を行うものであり、排水能力を $4.45\text{m}^3/\text{s}$ から $8.8\text{m}^3/\text{s}$ へ倍増することにより、湛水被害と維持管理労力の軽減を図るものであります。

施工場所は年間を通じて風が強い地域であり、沖積層の軟弱な地盤構成のため厳しい現場条件となっています。また、工程上、機場本体工のコンクリート打設が厳冬期の施工となつたため、品質管理に大変苦労しましたが、無事に躯体を打設することが出来ました。

竣工まで1年を切り、工事の最盛期と営農時期が重複することから、営農の支障とならないように配慮し、最上川下流左岸農業水利事業所等と連携を図りながら、現場関係者と力を合わせて無事故・無災害での完成を目指してまいります。

監督職員からのエール

本工事は、一級水系最上川下流域の一次支川京田川への排水を担う施設の土木建築工事です。

現場は東北の日本海側ということもあり冬季は特に強風が吹き荒れる地域ですので、暴風雪対策と併せた施工が重要となります。

本工事においては特に品質確保と安全対策に注力して施工を進めてもらっております、関係機関とその都度確認し地盤改良や杭基礎、躯体の施工を行う上で、最善な方法を計画してくれています。

一方では、昨年度から工事安全管理対策協議会の会長兼幹事を務めていただいており、当事業所の各実施工事を率いて全体を取りまとめていただきました。

今後、ポンプ設備、除塵設備の受注者及び事業所を含めた4者で工程管理を行い、手戻りなく作業を進めていけるよう一丸となって対応していきます。地元に喜ばれる施設を完成させるため、引き続き無事故、無災害で工事の完成

を迎えられるようよろしくお願ひします。



現場代理人

(写真右) 株式会社奥村組 農政庄内工事所

現場代理人 宮崎 悠二

監督職員

(写真左) 東北農政局 最上川下流左岸農業水利事業所

工事第二課長 山田 伸之

